

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
国際テクニカル美容専門学校	平成17年12月27日	會澤 洋輔	〒323-0807 栃木県小山市城東1丁目106番地21 (電話) 0285-21-3991																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人 ティビシィ学院	昭和60年3月26日	理事長 齊藤 武士	〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1-2-5 (電話) 0285-20-5088																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
衛生	衛生専門課程	美容学科 プライダル・メイク・ネイル・アイラッシュ コース	平成19年文部科学省 告示第20号	-																			
学科の目的	①美容師国家試験に合格できる技術・知識の習得 ②美容師としての実践的な技術習得 ③接客業としてのマナーの習得																						
認定年月日	平成28年 2月 19日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	2010時間	780時間		810時間		420時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
80人	23人	0人	7人	4人	11人																		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 筆記・実技試験、提出物、出席状況等をもとに100点満点 で評価。60点未満は単位不認定とする。																		
長期休み	■学年始:4月1日～4月7日 ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月25日～1月7日 ■学年末:3月18日～3月31日		卒業・進級 条件		必修科目および選択必修科目すべての単位取得をする。 ならびに進級・卒業試験に合格する。																		
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 ①クラス担任による本人・保護者の面談。 ②学科長および教務部長による面談。		課外活動		■課外活動の種類 ①各種美容技術大会への参加。 ②外部メーカー・ディーラー主催のヘアショー、イベント参加。 ■サークル活動: 有																		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 美容室・マツエクサロン・ネイルサロン ■就職指導内容 履歴書・エントリーシートの記入方法ならびに面接指導。 ■卒業生数 14 人 ■就職希望者数 14 人 ■就職者数 14 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 % ■その他 ・進学者数: 〇人 ・全員就職。 (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に関する平成29年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師国家試験</td> <td>②</td> <td>14人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>サービス接遇検定</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>アンリサンクメイク検定</td> <td>①</td> <td>9人</td> <td>9人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当する か記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 第8回関東地区理容美容学生技術大会 アップ部門 優勝 カット部門 優勝			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師国家試験	②	14人	14人	サービス接遇検定	③	23人	20人	アンリサンクメイク検定	①	9人	9人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
美容師国家試験	②	14人	14人																				
サービス接遇検定	③	23人	20人																				
アンリサンクメイク検定	①	9人	9人																				
中途退学 の現状	■中途退学者 3 名 ■中退率 13 % 平成28年4月1日時点において、在学者23名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者20名(平成29年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 ①経済的問題 ②友人とのコミュニケーション ■中退防止・中退者支援のための取組 ①担任及び本人・保護者面談 ②学科長ならびに教務部長との面談。																						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ①学費給付試験により授業料免除 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 1名																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 美容をはじめ調理・自動車など各分野から構成される「学校評価委員会」にて第三者評価あり。																						
当該学科の ホームページ URL	http://www.ovama.ac.jp/																						

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか「就職者数(関連分野)」は「学校基本調査」における「関連分野」に「就職」の欄に「有」を記載し、また「その他」の欄に「関連分野へのアルバイト者数」を記載

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係			
(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針 美容業界の動向や最新技術を知ることで、実践的な職業教育の質を確保することを目的とし、意見交換した内容をカリキュラムなどにはんえいさせていく。			
(2)教育課程編成委員会等の位置付け 学生指導にあたる教員を含め、美容室経営者や業界関係者に意見を頂き、カリキュラム編成や授業に反映する。			
(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 平成29年10月1日現在			
	名前	所属	任期 種別
	吉田 将人	有限会社 マジックコーポレーション リミテッド 取締役社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年) ③
	山本 勝弘	一般財団法人 国際美容協会 東北ブロック 長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年) ①
	小山 智弘	国際テクニカル美容専門学校 教務科長	
	宇賀耶 志織	国際テクニカル美容専門学校 教員	
	押坂 麻美	国際テクニカル美容専門学校 教員	
	五月女 恭徳	国際テクニカル美容専門学校 教員	
※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。) ②学会や学術機関等の有識者 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員			
(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期 年間2回以上開催。議案等に応じて適宜開催。 (開催日時) 第1回 平成29年8月4日 14:30～16:30 第2回 平成29年9月25日 11:00～12:00			
(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況 次年度より美容師法改正に伴い大幅なカリキュラム変更になる。試験課題採点項目変更など美容師法・国家試験の変更の目立つ年度になっている。			
2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係			
(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 現場で即戦力となる学生を育てるため、茨城・栃木などの美容室に協力して頂き指導する。実施後、企業や学生からの実習報告書をもとに、その効果を検証しながら改善していく。			
(2)実習・演習等における企業等との連携内容 美容師有資格者のみが施術できることもあり、在学中にアイリストの技能・知識を応用技術の中で企業のアイリストより学び指導を受ける。			
(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。			
	科目名	科目概要	連携企業等
	美容実習	パーマメント実習 サロンスタッフより美容室で使用している薬剤を使用して行う。	Be-Posh
	美容実習	カラーリング実習 サロンスタッフより美容室で使用している薬剤を使用して行う。	circle de circle
	応用技術	美容師有資格者でマツエク専門サロンオーナーより基本技術の指導を受ける。	Amlet
	応用技術	現役美容スタッフからシャンプーやブローなどの美容技術の指導を受ける。	Pure Preice
	専攻コース	きつけ技術の指導受け、免許皆傳を目指す。	一般財団法人 国際美容協会

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 日本理容美容教育センター主催、関東地区理容師美容師養成施設教職員協議会主催、各メーカー主催の研修会・講習会に教職員を派遣し、技術や指導法を優s得させる。

(2) 研修等の実績
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 関東地区理容師美容師養成施設教職員協議会主催
 平成28年10月7日8日(金・土) 群馬県(小山 智弘)

② 指導力の修得・向上のための研修等
 関東地区理容師美容師養成施設教職員協議会主催
 平成28年10月7日8日(金・土) 群馬県(小山 智弘)

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 関東地区理容師美容師養成施設教職員協議会主催
 平成29年10月6日7日(金・土) 埼玉県(小山 智弘)

② 指導力の修得・向上のための研修等
 関東地区理容師美容師養成施設教職員協議会主催
 平成29年10月6日7日(金・土) 埼玉県(小山 智弘)

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針
 美容業界以外にも、総合専門学校の利点を生かし「調理・自動車・デザイン」など他分野でも活躍する有識者より意見を頂き学校運営・授業へ反映する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	建学の精神・目的・目標など明文化し、学生・保護者に周知されているか。
(2) 学校運営	学校管理・運営体制が確立しているか。
(3) 教育活動	カリキュラムの取り組み・実践的職業教育が体系的に位置づけられているか。 教職員の指導力向上の取り組みがされているか。
(4) 学修成果	国家試験取得をはじめ、資格取得の向上が図られているか。
(5) 学生支援	学科の教育目標に向け、卒業後まで学生支援が整備・活用されているか。
(6) 教育環境	学科の基本方針など教育整備・活用されているか。
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動が適正に行われているか。学納金は妥当か。
(8) 財務	中長期的な財務基盤は安定しているか。予算収支計画は適正か。
(9) 法令等の遵守	学科の教育目標、育成人材像に向け自己採点・評価の実施をしているか。
(10) 社会貢献・地域貢献	計画的・組織的に社会活動への取り組みを推進しているか。
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。
 (3) 学校関係者評価結果の活用状況
 美容業界以外にも、総合専門学校の利点を生かし「調理・自動車・デザイン」など他分野でも活躍する有識者より意見を頂き学校運営・授業へ反映する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿 平成29年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
山崎 直美	保護者PTA代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	PTA
殿塚 貴子	保護者PTA代表	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	PTA
赤荻 一也	卒業生代表 RED-JAPAN 株式会社 代表取締役	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	卒業生
布川 英一	栃木県自動車整備振興会 教育技術部長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業
酒田 守視	亀田自動車株式会社 専務取締役	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業
田中 一夫	倫理研究所 小山市倫理法人 会長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業
長山 優	株式会社 コーラス 代表取締役社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業
吉田 将人	有限会社 マジックコーポレーション リミテッド 取締役社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業
山本 勝弘	一般財団法人 国際美容協会 東北ブロック長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業
蓮見 公男	茨城県印刷工業組合 副理事長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業
鈴木 貴嘉	株式会社シンコー 代表取締役社長	平成29年4月1日～平成30年3月31日(1年)	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
 (例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
 (ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())
[URL:http://www.ovama.ac.jp/](http://www.ovama.ac.jp/)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

美容業界以外にも、総合専門学校の利点を生かし「調理・自動車・デザイン」など他分野でも活躍する有識者より意見を頂き

学校運営・授業へ反映する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	建学の精神・目的・目標など明文化し、学生・保護者に周知されているか。
(2)各学科等の教育	学校管理・運営体制が確立しているか。
(3)教職員	カリキュラムの取り組み・実践的職業教育が体系的に位置づけられている
(4)キャリア教育・実践的職業教育	国家試験取得をはじめ、資格取得の向上が図られているか。
(5)様々な教育活動・教育環境	学科の教育目標に向け、卒業後まで学生支援が整備・活用されているか。
(6)学生の生活支援	学科の基本方針など教育整備・活用されているか。
(7)学生納付金・修学支援	学生募集活動が適正に行われているか。学納金は妥当か。
(8)学校の財務	中長期的な財務基盤は安定しているか。予算収支計画は適正か。
(9)学校評価	学科の教育目標、育成人材像に向け自己採点・評価の実施をしているか。
(10)国際連携の状況	計画的・組織的に社会活動への取り組みを推進しているか。
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL<http://www.ovama.ac.jp/>

授業科目等の概要

(衛生専門課程美容学科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			関係法規・制度	美容師法に関する衛生法規。	1通	35	1	○			○			○	
○			衛生管理	公衆衛生・環境衛生・感染症・消毒	1後2通	##	3	○			○			○	
○			美容保健	人体の構造および機能・皮膚科学	1通2通	##	4	○			○			○	
○			美容の物理化学	物理・化学の基本知識。香粧品化学。	1通2前	##	3	○			○				○
○			美容文化論	美容文化史・デザイン	1通	##	3	○			○				○
○			美容技術理論	美容技術の知識・美容器具の取扱い	1通2通	##	4	○			○			○	
○			美容運営管理	経営・労務管理の基本知識。	1通	70	2	○			○			○	
○			美容実習	美容業務を安全かつ効果的に行うために基本的操作を学ぶ。	1通2通	##	27		○	○	○			○	△ ○
○			コース選択	ヘア：より実践的なカット技術やカラーリングなど。 ブライダルコース：メイク・ネイル・アイリッシュなどより実践的に学ぶ。	2通	##	6		○	○	○			○	△ ○
○			接客マナー	美容業を行ううえでのビジネスマナー。	1通	70	2	○			○				○
○			色彩学	メイク・ヘアカラー・ネイルなどを行うために必要な色の知識を習得する。	1通	70	2	○			○				○

○		就職実務	就職活動の方法・履歴書・エントリーシート 模擬面接				○		○	○				
○		応用技術	ネイル・メイクなどの基本技術を理解。現役美容師にも定期的に指導を依頼。					○	○	○		○	△	○
合計				13科目	2,310時間(67単位)									

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
学科・実技ともに100点満点で評価し、60点未満は補修・追試験を行う。 全単位取得し、進級認定および卒業認定試験に合格する。	1学年の学期区分	前後期
	1学期の授業期間	前17・後18週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。